



志津南

2月号 news

志津南ホームページ
https://shizu373.net

志津南学区の人口 (12/31 現在)
世帯数 2,532 総人口 6,705 人
発行
志津南学区まちづくり協議会
Tel(fax) 077-563-6206
E-mail shizu373@machikyout.jp

令和5年 志津南3大ニュース

新たな年がスタートしました。今年が昨年にも増して、佳い一年となりますよう祈りを込め、令和5年を振り返ってみました。

1 冠 脱・コロナ

令和5年度まち協定時総会



書類審議を余儀なくされていた各町内会・自治会の総会が対面で開催されたのを皮切りに、多人数が集まる講演会や調理実習などのイベントが再開され、まちづくりセンターも多くの人で賑わい、活気が戻りました。

2 冠 子どもフェスタ

10月29日、ふれあい推進委員会主催の第1回子どもフェスタがロクハ公園スポーツ広場で開催されました。一昨年のプレ開催より更に参加団体も増え、楽しい企画満載のイベントでした。好天にも恵まれ、終日笑顔が溢れていました。



盛り上がったステージ

3 冠 ホタル鑑賞会

6月10日、青少年育成委員会が、4年ぶりとなるホタル観賞会を開催、小学生と保護者・スタッフの総勢約200人が伯母川でホタルを観察しました。今年1月にも小学生を対象の「新春かるた大会」が計画されるなど、子どもたちの健やかな成長を応援する取り組みが模索されています。



大人気だったホタルを観る会

志津南学区まちづくり協議会(四方道治会長)は1月6日、まちづくりセンター

でも軽減できるよう考えて

shizu373.net)を確認した



1で第5回理事会を開催しました。副会長から「事業・組織の見直し」の提案が出され、その後専門委員会・委嘱団体へのヒアリング、各理事へのアンケートなどを実施してきました。今回はそれらをベースに、具体的な方向の提案を行い、承認されました。委員・役員の負担を少しでも軽減できるよう考えて

2段階で進める予定で、令和6年度は従来通りの組織組みの中で可能な部分を実行、令和7年度へ向けて事業・組織見直しを進め、完成を目指します。具体的な内容は、各町内会の回覧等及び、まち協ホームページ(<https://www.shizu373.net>)を確認した

事業・組織の見直し 方向付け 委員会団体へのヒアリングを経て

「基本的事業」は内容を軽くする方向で見直し、「イベント事業」は委員会から切り離して、可能な限り「やる人がやる」という考え方で進めます。

おり、まちづくり協議会の「基本的事業」は内容を軽くする方向で見直し、「イベント事業」は委員会から切り離して、可能な限り「やる人がやる」という考え方で進めます。

青空に弧を描く一斉放水



第一部の式典では、功績のあった団体・個人に対する草津市長表彰をはじめとする各種表彰が行われました。その中で、

また、令和6年度の会長・副会長候補の選出を行いました。会長候補に現会長の四方道治さん、副会長候補も現副会長の高岡昭義さん、妹尾志郎さん、佐藤恵子さんを選出しました。正式には4月開催予定の総会で承認を得て就任となります。

防火・防災の誓い新たに

草津市の消防出初式が1月7日、草津市役所で行われ、

年初早々に能登半島地震が発生し、緊急支援対応が続く中での挙行となりました。

第二部の訓練は、庁舎前の屋外エリアで、草津中学校吹奏楽部の演奏に合わせた分列行進が行われ、その後草津市消防団による消防操法訓練の披露が行われました。最後に消防団や自衛消防隊7団体による一斉放水で締めくくりとなりました。

職員募集

志津南学区まちづくり協議会では、事務局職員を募集しています。

詳しくは、お問い合わせください。
▽問い合わせ 志津南まちづくりセンター
(0900) 92006
shizu373@machikyout.jp
▽担当 長谷川

募金のお願い

志津南まちづくりセンターの窓口に、元旦に発生した「能登半島地震」への募金箱を設置しています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

炎に新年の無事祈る



今年も新年の無病息災を願い、お正月飾りなどを燃やす左義長が行われ、多くの人の祈りが、炎と共に空高く上がりました。

笹竹を組んで作られた火床



久々に青竹組んで

1月14日、追分町野上クラウンドで恒例の左義長が行われ、正月のしめ縄やお守り等を焼き上げました。昔からの伝統行事で、正

月に迎えた歳神様を炎と共に見送るの儀式です。ここ数年近隣への影響から火床を小さくして行っていました。今年も久しぶりの青竹を組んでの左義長でした。

お酒やぜんざいも

若草・岡本西地区協働活動委員会(蟹江錠二委員長)は1月8日、若草中央児童公園で左義長まつりを行いました。

前日に笹竹を伐採し、西側の小公園で各町内会長が、火床の設置具合や笹竹の組み方等を確認するなど準備をしました。

朝はうっすらと雪が積もっているのが見られました。風もなく穏やかな状態で、早朝からお正月のお飾りや書き初め、お札類を持って多くの



炎のまわりに集う人たち

方が集まりました。今年もできるだけ、紙類等を燃やさないよう、注意しながら行いました。今年もコロナも五類に移行したことを受け、お酒やぜんざい・甘酒等の振る舞いがありました。地域のボランティアの方々をいただき、多くの方々が集まり、久しぶりに会った人同士、新年の語り合いがありました。

寒風の中、和やかにもちつき



若草四丁目町内会(谷口賢会長)は12月23日、ふれあい隊の協力で行った餅つき大会を実施しました。

冬晴れのこの日は、身体に染みる寒さの中でしたが、総勢約80人が参加しま

した。

朝早くから町内会役員や会員、ふれあい隊メンバーが手際よく、餅つきの準備にとりかかりました。

一臼をつくの大人が7、8人がかりで、つき終わったら後は皆息があがり、肩で息をする姿もありました。大人に混じって幼児や小学生も参加し、頑張った手餅つきを体験。和やかに

なひと時を過ごしました。

初めて参加し餅の丸め手を体験した女性も、教えてもらいながら笑顔いっぱいでした。

今年も、ふれあい隊員も花澤さん伝授の名物豚汁も用意され、寒風で冷え切った参加者の身体を温め、あつという間に完食となりました。

寒風の中事故なく、新年を迎える準備の行事を無事に終え、感謝の思いです。

邪気を食らう



獅子舞は1月1日から草津市一円を順番に回り、追分町には毎年1月26日にやります。写真。

古来より悪魔祓いをする縁起のよいものとして定着し、正月には欠かせない行事となっています。昔は全戸を回っていましたが、近年は町内の開発等で軒数が増加、一部の民家しか訪れていないようです。この日も玄関先で獅子が舞いお祓いをし、火伏せのお札を貰いました。

安心のバトン

5年ぶりに再開した「安心のバトン」は、282人(187戸)から申し込みがあり、概ね配布を終えました。バトンに入れる緊急情報記入用紙等が追加で必要な方は、町内会の社会福祉委員または社協(ふれあいハウス「絆」507-9407)までご連絡ください。

高齢ドライバーの特徴学ぶ

人も参加しました。

講習会で草津警察署から説明を受けた、高齢ドライバーの特徴と気を付けるべき点について概説します。高年齢ドライバーは一時停止場所での停止時間が短く、首を動かしての左右の安全確認が不十分な人が多いこと。また視野の広さが、停止時は若年層と大差ないものの運転中は極端に狭くなるので、左折時の歩行者やバイク・自転車の巻き込み等に十分注意する必要があります。電話(507)9407

「送迎ボランティアのための安全運転講習会」(草津市社協主催)がキラリエ草津学区の送迎ボランティア6

キラリエ草津で行われた安全運転講習会



①体調よし(体調がすぐれない時は運転を控える) ②状況よし(天候の悪い日や夜間、通勤・通学時間帯の運転は控える) ③行き先よし(長距離の運転は控える) それでも運転に不安や危険を感じてきたら、運転免許の自主返納を考えて欲しいとのこと。運転免許返納に伴い通院等に不便を感じられたら、遠慮なく社協のふれあい送迎をご利用ください。問い合わせ先は、ふれあいハウス「絆」です。

湖上からの景色に驚きと感動

志津南小学校(山田容子校長)五年生を対象としたフロートイングスクールが、



船上から沖島を展望する子どもたち

12月13、14日と15、16日の二航海に分かれて、それぞれ大宝西小学校、葉山小学校児童と一緒に実施されました。今年度から、コロナ禍前のように一泊二日の航海となり、二校が同船して活動を進めました。一日目は、甲板で琵琶湖大橋を下から見上げたり、沖島を展望したりしました。また、大津港周辺を散策し、湖上から見る景色に驚きと感動を味わい、琵琶湖との触れ合いを通して、湖や山々などの自然に囲まれた滋賀県で生活していることの良さを感じました。その自然を大切にしていこうという気持ちを再認識でき、貴重な体験となりました。



真つ直ぐに伸びたフトイの直線をモチーフにした作品です。植物を見つめてみると無数の線があることに気づか



花材

- フトイ テマリソウ ガーベラ アストランチア アカドラセナ

た後、「湖の子」の夕べの間では、学校紹介の動画を見たりと交流を深めました。二日目は、琵琶湖の水の汚れ回復実験や水中のプランクトン観察、琵琶湖の漁を知る学習等にも取り組む「湖上の学校」ならではの学習に、興味津々の様子でした。

新春 墨の香に想い込め



志津南まちづくりセンターで「書き初めの会」を4年ぶりに開催しました。写真。書道教室を主宰する西口青咲先生(若草3丁目)の指導で、参加した25人の子ども達が真剣な表情で筆を走らせました。先生にアドバイスをいただき、枚数を重ねると、皆のびのびとした筆遣いになり、一人一人が真剣に作品に取り組みることができました。子ども達のいきいきとした表情がとても印象的でした。

若草・岡本西子ども会(神山佳名子会長)は1月6日、今年もお正月に子ども達に遊んでもらおうと「追分野上グラウンド」では玉入れやシャボン玉等が用意されました。



好天に恵まれ多くの親子連れで賑わいました。参加者にはプレゼントも用意されており、楽しいお正月になりました。



久々の開催に話が弾む参加者



新年も地域の輪を大切に

久しぶりの開催に参加者40人が集い、おいしいお弁当と茶菓をいただきながら話も弾んでいました。そしてちよっぴり頭を使ったゲームで盛り上がり、楽しく過ごすことができました。

地域サロン「若草一味クラブ」(早川將代表)が1月10日、4年ぶりに懇親会(新年会)を開催しました。ついで、元気でグラウンドゴルフや囲碁ボールを通して、地域の輪を大切にしていきたいと思ひます。

今月の志津南文庫



今年辰年です。竜にまつわる冒険小説を読んでみませんか。

竜のいる島 たかしよいち 理論社

- はらぺこニードル 清水真裕 童心社
架空の犬と嘘をつく猫 寺地はるな 中央公論新社
盤上の向日葵 柚月裕子 中央公論新社
寝る前に読んでください 佐藤光浩 アルファポリス
なんで?なんで?のこたえ方 丹伊田弓子 辰巳出版
三千円の使い方 原田ひ香 中公文庫
泣ける日本史 真山知幸 文藝社

他

当日の様子を2月3日(土)まで、センターのサロンに展示していますのでうそぞ囃してください。

隅々までスッキリきれいに

志津南まちづくりセンター
 1は12月22日、16自主教室
 と健康推進員、ボランティア
 コロナ禍で数年実施でき
 ませんでした
 が、感染症法五
 類に移行したこ
 とで、令和4年
 久しぶりに実施
 したのに続き、
 今回も総勢43人
 で実施できまし
 た。皆で協力し、
 玄関や各部屋の
 窓等、隅々まで
 すっきりきれい
 になりました。
 清掃の後、消



協力してセンターの掃除をする皆さん

皆で作る「思い出の写真展」

志津南まちづくりセンタ
 1は、「志津南アンサンブル
 ワー」の協力を得て、次の
 要領で「思い出の写真展」
 を開催します。
 ▽期間 3月4日(月)～
 30日(土) 正午まで
 ▽場所 センターサロ
 ン
 開館時、自由に閲覧して
 いただけます。
 学区の皆様へ呼びかけ、
 開発当初など昔の写真をた
 くさん持ち寄っていただき
 ました。同時に、皆で創っ
 てきた活動のことや、移り
 住んだ当時の話も伺いまし
 と思っています。

たので、それらをまとめて
 展示します。
 展示会場では、来ていた
 だいた方にも「こんなエビ
 ソードもあったよ」など、
 たくさんさんの声を付け加えて
 いただき、当学区のこれま
 での歩みを皆さんと作って
 いきたいと思っております。
 この写真展をきっかけに、
 このまちを育んできた先人
 のパワーをいただき、人と
 人との繋がり大切さや、
 これからのまちづくりを改
 めて考え直す機会になれば
 と思います。

火訓練を実施しました。用
 意した水消火器を使い、火
 元に見立てたコーンを標的
 に噴射を行いました。こう
 した訓練の機会に、いつ起
 きるかわからない災害に備
 える心構えを新たにしたい
 ものです。

床もピカピカに

志津南まちづくりセンタ
 1は12月28日、センター大
 会議室の床修理を実施しま
 した。写真。
 志津南まちづくりセンタ
 1が建って、27年目になり、
 会議室の床の痛みも激しか
 ったため、特にひどい部分
 の塗り替えや、穴の空いた
 部分の補修をしました。
 これからも、皆さまと一
 緒に、志津南まちづくりセ
 ンターを気持ちよく利用し
 ていきたいと思えます。



これからが面白い

志津南まちづくりセンタ
 1は、「リタイア後の生き甲
 斐と仲間作り」と題して、次
 の要領でまちづくり研修を
 実施します。
 ▽日時 2月3日(土)
 13時30分～16時
 ▽場所 志津南まちづくり
 センター 会議室
 ▽内容
 ①講演 仲間づくりで地域
 を豊かにする秘訣
 講師 山田周生さん
 フォトジャーナリスト
 (一般社団法人)ユナイテ
 ッドグリーン代表理事
 ②志津南学区のまちづく
 り取り組み事例紹介
 ③「沢川なんでもやる会」
 事例紹介
 ▽対象 学区住民で活動に
 興味がある方
 ▽参加費 無料
 ▽申し込み 不要
 これは、沢川学区まちづ
 くり協議会(若月義信会長)
 が地域安全コミュニティ部
 会のまちづくり研修として、
 志津南学区を研修先に選定
 され、実施するものです。
 双方の学区の取り組み事
 例交換と「自分のため」の
 仲間作りの秘訣を聴く講演
 会を行います。
 当日は沢川学区から評議
 員他の方々がお来訪されます。

「絆」12周年

ふれあいハウス「絆」は
 今年、12周年を迎えます。
 開所記念日の2月5日(月)、
 10時～16時まで、ささやか
 ではあります。温かいお
 ぜんさい・コーヒーなど(無
 料)を用意して、皆様のお
 越しをお待ちしています。
 日頃はふれあいハウス
 「絆」をご支援、ご利用い
 だきましてありがとうございます。
 どうぞ楽しいひと
 時をお過ごしください。



「泉」30余年の歩み

ボランティアグループ
 「泉」は、昭和62年に発足し
 ました。
 知人もいない新興住宅地
 に移り住んで間もない頃、
 若草第三集会所を拠点に活
 動をされていたボランティア
 アグループに仲間入りさせ
 てもらいました。そこでリ
 ーダーの松本孝子さんに初
 めて出会いました。新しい
 町のために、人と人をつ
 繋がるうと、前向きな活動
 の日々を刺激を受け、とて
 も充実した日々でした。



ふれあい昼食会の風景

「無理なく・楽しく、泉が湧
 くがごとく笑顔で」をモツ
 トに次の2点を主として
 やってききました。
 ①ふれあい昼食会
 高齢の一人暮らし・昼間
 お一人の方を対象に、毎月

ループ泉」と改名。リーダ
 ーを引き受けることになり
 「無理なく・楽しく、泉が湧
 くがごとく笑顔で」をモツ
 トに次の2点を主として
 やってききました。
 ①ふれあい昼食会
 高齢の一人暮らし・昼間
 お一人の方を対象に、毎月

パソコンの駅
 ▽パソコンについての相談
 ▽2月27日(火)、3月27
 日(水) 13時～16時
 ▽センターサロン
 ※時間帯の予約をお願いし
 ています。
 第1金曜日、40～50食の松
 華堂弁当を提供。「高齢者に
 喜びと笑顔をそして私たち
 も笑顔に」と、30年間毎
 月1度も休まず仲間と続け
 てきました。
 この昼食会で大切なのは、
 参加者の安否確認・支え合
 いになっていたことです。
 ②ふれあいバスツアー
 春・秋の年2回、福祉バス
 を利用して県内は勿論、京
 都近郊へも。歩行距離、階
 段など行程も考え、食事処
 は椅子席でと、安全第一に
 計画を立て実施。長い間に
 は失敗もありましたが、感
 動することも多くあり、何
 より1度の事故もなく「み
 んなで楽しいお出かけの機
 会」が持てたと思えます。
 長い年月続けてきた活動
 も、数年間にわたり世の中
 を一変させた厳しい突然の
 感染症にやむを得ず休会。
 気をもみながら、また仲間
 たちと共に何か活動ができ
 ればと願う日々です。
 (藤田清子)

お一人の方を対象に、毎月
 高年齢の一人暮らし・昼間
 お一人の方を対象に、毎月
 高年齢の一人暮らし・昼間
 お一人の方を対象に、毎月